

しのはらの風 20-5号

小淵沢町篠原区情報紙
発行人; 区長 松井 皎
編集; 藤代 富美男

<今回も、その先も区の事業はみんなですすめよう>

今回のまつりは、これまでの「開拓祭・敬老の集い」にかかわった方々の参加をいただいた実行委員会により「以前やった祭りの再現」をめざしながらの企画です。この一連のイベントを通し「篠原の歴史」と「いまの篠原」を感じていただきたいと思います。

また 10 月 19 日は小淵沢の 13 区・分館が競う体育祭が予定されています。篠原は女取とペアを組みますが、例年出場申込者がいません。今後は体育部そのものとスポーツを通じた交流の拡充を考えていますのでご協力よろしくお願いします。

区長 松井 皎

<町民体育祭へ行こう!!>

10 月 19 日（日）は小淵沢地区町民体育大会の日です。小淵沢町内の 13 の区が総出で総合スポーツセンターグラウンドに集い各種目に競い合います。篠原区は以前から隣の女取区と合同チームを作って参加しています。競技内容は以下の通りです。

- | | |
|------------|-----------|
| 1、ゲートボール競争 | 2、かのにの引越し |
| 3、ボーリング競争 | 4、順送球競争 |
| 5、?（はてな） | 6、風船火山 |
| 7、麦 畑 | 8、年齢別リレー |

閉会式は 12:15~12:45 の予定です。

各種目とも練習をすればうまくなるとは限らないようです。だから面白いんですね。先日出場選手の選考が行われました。今後に予定されている女取区との合同会議で最終選考が行われ精鋭(?)が決まります。選手の皆さん怪我をしないように頑張ってくださいね。残念ながら選考に洩れた皆さん(殆どの区民ですが)応援に行きましょう。チョットしたお菓子や飲み物があるようです。見慣れた人が意外な顔を見せるかもしれません。体育祭終了後は女取公民館で反省会が開かれます。各種目の反省に友好と親睦の交歓が行われることでしょう。

<子供クラブの活動>

篠原区には子供クラブがあります。「しのはらの風 20-3」で紹介しましたが篠原区では長寿者クラブと子供クラブが元気です。どのような活動をしてるのか一部を紹介します。初夏と秋の環境美化運動に参加して通学路を中心にゴミ拾いをしました。また夏休みの最初に朝早く全員が公民館に集まってラジオ体操をしました。夏休み中の 8 月 9

日に行われた小淵沢地区親善球技大会に 4 区合同で参加して準優勝と第 4 位の成績を収めました。開拓祭では子ども神輿を担ぎ、敬老の集いでお年寄りにメッセージを送ります。またみんなでポスターを書いて区内に貼ってお祭りの宣伝をしました。

その間には 7 月に夏のリクリエーションとして富士急ハイランドで楽しい一日を過ごしました。子供達はこれからの社会を作る宝です。篠原のような高齢化が進んだ地域では特に貴重な存在です。みんなで見守っていきましょう。また子供たちの保護者の方々の結束力も地区の大きなパワーになります。

現在の構成は 30 世帯 合計 43 名の子供とその保護者です。

* 子供クラブでは会員を募集しています。問い合わせは高栄さん(36-5026)まで

<エコ・ツアーで環境通になる>

環境部では私たちが毎日の生活で出しているゴミがどのように処理され、リサイクルされているのかを知るエコ・ツアーを企画しています。この企画には市役所小淵沢総合支所も協力して頂き、見学先の手配をしたりバスを提供してくれます。区民の皆さんが関心を持って参加してくれるとうれしいですね。予定は以下の通りです。後日参加申込書を回覧しますのでどしどし参加してください。施設の営業の関係で平日になりますのでご了解をお願いします。(参加費は無料です。ささやかなお弁当が出ます。)

① 日 時； 11月7日(金) 9時00分 公民館集合(9時15分出発)

3時 公民館帰着予定

② 見学先；(1) エコパーク竜岡(峡北広域環境衛生センター)

← ゴミを処理している

(〒407-0033 韮崎市竜岡下条南割 1895 Tel 22-3437)

(2) 国土興産株式会社 ← 資源物をリサイクルしている

(〒407-0261 韮崎市中田町小田川 762 Tel 25-5353)

<ゴミについて>

自治会活動でゴミの問題は最も重要な問題の一つです。資源ゴミについて再三ご案内とお願いをしていますがいまだに守られていません。このことは繰り返しお願いを続けて行こうと考えています。最後の一人がご理解していただけるまで続けようと思います。資源ゴミは毎月第3土曜日の午前9時から11時までの間だけです。その他の日や時間は出せません。何故そうするのかというと毎月交代で各組の方が(本来は全員なのですが参加しない人も多いですね)ゴミステーションの清掃と資源ゴミの受付整理をします。今までルールが守られて来なかったのが資源ゴミの回収ボックスに無理やり詰め込まれたダンボールや新聞紙、本・雑誌の類を引き出して分類しなおし、並べ替える作業をしていました。ついには以前に書きましたが回収ボックスのドアが壊れるということにまでになりました。清掃活動に参加される皆さんが折角の休日に、または忙しい合間

を縫って来られているわけですから unnecessary な作業はしなくて済むようにしたいものです。清掃活動に参加すればやはり決められた日の決められた時間に持っていくことの大切さがわかって頂けるのかなと思います。皆さん、重ねてご協力をお願いします。

<ゴミ袋に名前を書いてみよう>

しつこいようですがゴミに関してもう一つ。皆さんはゴミ袋に名前を書いて出していますか。プライバシーの問題だとか個人情報保護の問題とか、書く必要なんかはないなんて難しいことは言わずに一度書いてみませんか。今はほとんどの袋に名前が書かれていないようです。難しい理屈は抜きにして今書いていない人は試しに書いてみませんか。だからどうなのかって？まあ、そう力まずに書いてみましょうよ。

<井戸端喫茶の日程が決まりました>

文化部主催の井戸端喫茶の日程が決まりました。秋は行事が目白押しで日程調整に苦労していた文化部長の菊島さんが 11月9日(日) に実施すると大決断して役員会で了承されました。この日にしたのは他の行事と重なることを避け皆さんの参加が多いことを願って決めたものです。さらにビッグニュースです。「しのはらの風 20-1」で紹介したフルート奏者の菅野芽生さん(甲府湯田高校3年)が忙しいレッスンの合間を縫ってご好意で特別公演していただけることになりました。びわ湖国際フルートコンクール、アドバンス部門優勝者の音楽が地元の公民館で生演奏で聴けるんです。皆さん是非おいください。勿論篠原を知るための仲間や資料がふんだんにあって、楽しいフリーマーケットも開かれます。そして何より組を超えた交流が一番の目的です。秋の一日たまにはゆったりとした時間をすごして仲間の輪を暖めませんか。

総選挙があるとかいわれています。選挙の日と重ならないように祈っています。公民館は投票所になるのです。

<100歳おめでとうございます>

3組の中尾さんのお母様の横田チヨジさんが今年100歳の敬老の日を迎えられました。おめでとうございます。先日お伺いしてお話を聞いてきました。お生まれは明治41年(1908年)6月30日とのこと。お見かけしたところ80歳代といわれてもそうかと思うほどお元気で若々しく笑顔がとっても綺麗な方です。お話しもはっきりされ、立ち居振る舞いがてきぱきとしています。編み物を趣味にされ、お訪ねした日もご自分で編まれた緑の肩掛けをしていました。好きなものはトウモロコシと肉、魚(特にウナギ)だそうです。ちなみにきれいなものはトマトです。どうして?と聞いたらきれいだからとっていました。う〜ん。木々にかこまれた生活をされていますが落葉を放っておくことがきれいだそうで、落葉掃きが好きだそうです。でも最近やりすぎると腰が痛くなるので娘さんの中尾さんに止められているそうです。いつまでもお元気で。

篠原の歴史、昔を知るこのコーナーは今回から1組の志村健さんの亡くなった父上の志村卓爾さんが1991年に自費出版された「開拓の思い出」から転載します。志村健さんによると卓爾さんの記憶と写真をもとに書き上げられたものだということです。40頁余りの小冊子ですが「組合事業」「教育関係について」「水道事業について」等々部門別にまとめられて関係した方々の具体的な名前などが入っていて興味深いものです。今回は「十二、道路」を取り上げます。地域に関する本は小淵沢図書館に収蔵されていますので利用してみてください。

「開拓の思い出」

十二、道路

志村 卓爾

道路も入植当時は小淵沢駅へ下る道は石ころの川の中を歩いて通る道が主要の道路であったが、徒歩さえ大変な道を駅に行くにも買物に町へ出るにも難儀の毎日であった。主要道路と云うことで国の補助を受け組合事業として道路工事を進める。今迄通っていた道を宮久保の宮沢一郎さんの山を通してもらえる様交渉、度々の御願いを進藤亨さん進藤豊秋さん達にも御協力を御願いして交渉も難航したが、皆様の努力の御蔭をもって現在の道路が出来たのだ。旧道は伊藤石材店の前から鈴建の前を通り中央線ぞいに上がり中央道の手前から今の深沢の中を通り橋の上で和光さん前に出る道路で、渡辺威さんから小荒間へ通ずる道路は小海線建設に使用したトロッコの跡地を利用した道路だった。其の他は道と云う道はなく小海線上に登る道は草刈りに往復する馬道があった。其の後小荒間の開拓組合で道路計画をつくり篠原でも計画に合わせて北原輝員さんの耕地の中を通り小荒間へ通ずる道が出来た。

篠原から篠八ッ田へ通ずる学校道も雨でも降れば荒れて石ころの道になり牛車もやっと通れるぐらいで苦労した。

当時分校から本校へ通う道は、五年生と六年生と中学生が通う悪路であった。中矢さんから下へ行く道は二組と四組の生徒が通学していた道で、第一組の生徒は篠八田入口からすずらん牧場の横を通り日立から下る道へ出て通学していた。冬季雪が降ると父兄が先に立ち雪踏みをしながら本校迄通学を助けた日々も多かった。本校迄五キロ以上あった。現在では考えも及ばなかった状況の毎日で履物も粗悪なもので困難によく耐え凌ぎ来た。

道路補修のバラス運搬も町有の自動車(トラック)に十人ぐらい乗車、釜無川へ行き、スコップでトラックに積込み悪路になり穴のあいた所、輪だちに敷き補修も春秋の行事で機械力の無い当時は補修工事も大変な仕事の一つだった。

現在、小淵沢、小荒間線の道路も舗装になり部落と部落を結ぶ道、大東豊より篠原の上を通る道路が松村直彦さんの裏を通り、篠原から篠八ッ田へ通ずる道も立派な舗装道路になり町内連絡網が出来篠原地内も一部を残し舗装になる。雪の悪路も忘れがちの今日此の頃だ。